

■はじめに 国総研での研究の概要と本技術資料の位置づけ

◇技術資料作成の背景と目的◇

近年、市民活動への参加意欲や社会的期待が高まっており、水循環や流域に関わる分野でも、全国各地で市民団体などによる各種活動（環境保全や草刈のような河川の維持管理など）が行われています（市民と連携した河川管理の活動事例 HP、<http://www.kasen.or.jp/katsudoujirei/>）。

1つずつの活動は狭い範囲での小さな行動であっても、具体的な活動が、各地域の実情に応じて継続して行われることが、流域全体の水循環健全化に向けても重要です。

このような背景のもと、国土交通省 国土技術政策総合研究所（通称国総研）では、地域での活動が継続して行われている事例を参考にして、活動のコツを把握するための研究を行いました（「水循環健全化に係わる地域活動に関する研究」（平成 18 年度～20 年度））。

この研究から、継続した地域活動が行われている地域では、

- ・ 地域活動を主体的に行う NPO などの団体が、地域の特性を十分に把握して、これに応じた地域活動を行っている
- ・ 地域の特性に応じた活動なので、住民も活動を受け入れることができ、地域全体で活動を支えている

よって、地域活動が地域に支えられながら継続して行われている、ということがわかりました。

つまり、継続した地域活動を行うためには、地域の特性をしっかりと把握して、この特性に応じた働きかけを行うことが重要だということです。

そこで、本資料では、地域活動に際して把握すべき地域の特性を「地域活動支持力」と呼んで、「地域活動支持力」の特徴とこれを把握する方法、更には、「地域活動支持力」の違いに応じた、地域に対する働きかけの方法について提案しています。

地域で活動を行おうとする団体や、地域での活動を支援しようとする行政担当者が、地域に対してアプローチを行う際の参考資料となれば幸いです。

◇国総研での研究の概要◇

ここでは、国総研にて行った「水循環健全化に係わる地域活動に関する研究」（平成 18 年度～20 年度）の概要を説明します。

- ① まず、全国各地で行われている水循環に関わる地域活動のうち、継続した取り組みが行われている事例を対象にヒアリング調査を行いました。

その結果、地域活動を実施する主体（地域活動団体など）が「地域の特性」を十分に知り、その特性を踏まえた活動を行うことで、地域住民もその活動を受け入れて支える、これによって、地域活動が地域住民に支えられながら継続して行われていることがわかりました。

地域活動団体：

住民の意識や人的ネットワークなどの地域の特性を元から良く知っている人が中心的な役割を果たしたり、そうでない場合でも、地域住民と積極的にコミュニケーションを図って地域の実情を把握し、課題を掘り起こしたりするなど、地域を良く知り、地域の特性を踏まえた活動を実施する。

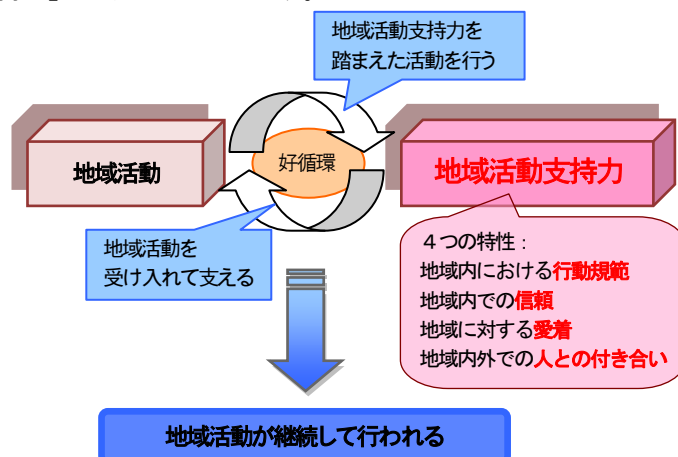
地域住民：

そのような地域活動が行われることで、積極的に活動に参加したり、積極的ではなくても、活動に反発せずに理解を示す（活動を認識する、ゴミを見つけて自ら拾う）など、地域住民がそれぞれ持つ意識や行動面での特性に応じて地域活動を受け入れて支える。

つまり、継続した地域活動を行うためには、地域の特性をしっかりと把握して、この特性に応じた働きかけを行うことが重要だということです。

- ② 次に、「地域の特性」とは具体的に何なのか？を調べるために、静岡県三島市で住民の方 4000 人を対象に住民アンケート調査を実施しました（回収率 27%）。また、①で行ったヒアリング結果を改めて整理しました。

この結果、「地域の特性」は、「地域内における行動規範」「地域内での信頼」「地域に対する愛着」「地域内外での人との付き合い」の 4 つの特性で言い表されるような、「地域住民が持つ地域活動を生み出し、受け入れて支えるような力」であることがわかりました。これを「地域活動支持力」と呼ぶことにします。

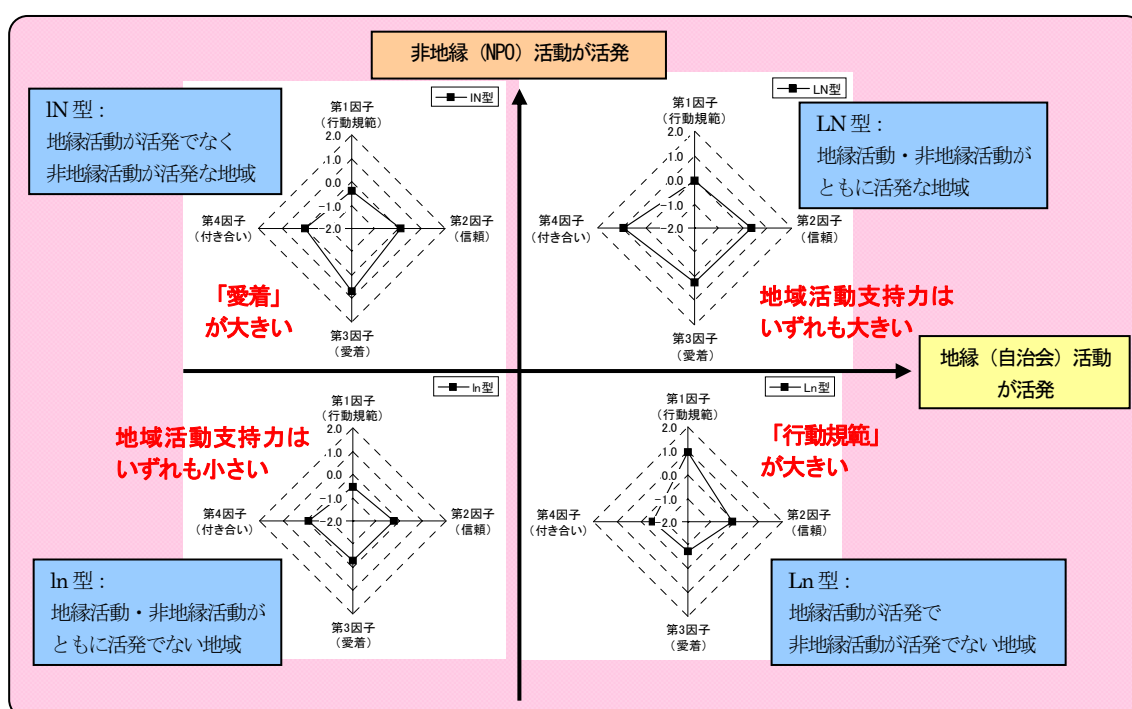


③ 更に、分析結果をもとに、地域活動の活発さと地域活動支持力との関係を整理しました。

具体的には、まず、地域を地縁活動（自治会活動）の活発さと非地縁活動（NPO 活動）の活発さに応じて4つに分類しました。

- LN型：地縁（自治会）活動および非地縁（NPO）活動がともに活発な地域
- Ln型：地縁活動が活発な地域
- IN型：非地縁活動が活発な地域
- ln型：地縁活動および非地縁活動がともに活発でない地域

そして、各分類（LN 型、Ln 型、IN 型、ln 型）に応じて「地域活動支持力」がどういった特徴を持っているのかを整理しました。



最後に、これらの分類ごとに、地域活動支持力を踏まえた地域活動や支援の方法について整理を行いました。

◇技術資料の構成◇

地域活動を実施する主体や地域活動を支援する行政担当者が、地域に対してアプローチを行う際に、その地域にはどういった活動や働きかけが適しているのか？を考える手がかりとなるよう、技術資料は以下のような構成としています。

第1部 考え方編

地域活動が継続して行われるためには、地域活動を実施する主体や、地域活動を支援する行政が、「地域活動支持力」を把握することが重要であることを説明し、「地域活動支持力」の定義とその特徴を解説しています。

第2部 地域に対する働きかけ・地域活動への支援方策編

まずは「地域活動支持力」の特徴を知るための方法を紹介しています。さらに、「地域活動支持力」の特徴ごとに、地域に対する働きかけや支援の方針、支援の方法を解説し、実際の事例の一部についても紹介しています。

第3部 参考事例

全国の先進的な事例について、地域活動の実施状況や行政による支援の状況を紹介しています。